日本GAP山形技部機関誌

五三浦·沙沙沙运步



日本GAP山形支部機關誌 ユニバーサルメッセージ 6

学ョ的スーリングの開発 久保田八郎…1 必要なものは与えられるジョージ·アダムスキー・4

次是 山形技术**学**段 至原弘可…6

本能 高野昌子...8

フルトクロフトご大きからのご書館…?

〈子告〉山形·仙台合同支部大会...10

お知らせ·編集後記 ... 17



まり根へしすとのど がる 煙っアれり関当過今 しお Ato . tr-`元心で生い底のしっしのたッたし誌初の年私上世山 こなどい命うをよかてく動過と人てを、早でがげ詰形 れるでるそこつうしきてき去いがい作手いニGま様支は意あののとらに確ま、やをつもたっ書の+Aすに部 味場 で自 生識りはもでぬ現実せ鮮変回まうのできに年中。 00 音音 涯は、私のすく象なん明化想に二で十のお目活 を全そのも。法は事。ながし夢十す数がどに動 部撒 終身れ肉不ま則変が 記あよの気が名りろなを t x えにを体変たは化一 憶まうよに の版いり関 200 厚は る 充支とで肉不しつ がりにうなそ方でて、始 もう < 平 ま満えマす体変であ 浮にもにりの々粗い年しでしてイ。をでもり かめ、 題ま頃に末ま月て £0. 御書 つは 4.99 続ていン変生あ、ま びま走ぎす生おなすの以 と頂 を大 上で馬去。ま送機・経来 空伯 きおるド化かるそす 由な



まパとととそマ意イ・が にに平あ部を ぎイレ争わりにい すシもきしれて識ン万始そなななりの抑そるンてのがま観ま 。」あにてはンかド事まのりり存、意制このドガフもす察す 、るは伝印ドらををりとま、在こ識してで自クけのがし[®] まで映え象にイ意知まきすすとれとて大す体然よ顔、自 たし像ら、伝ン識るすこ。べしに一お切。のとうにま分分はよとれすえつと者。そ、ててよ体とな 好しが暴る析の 透うなるならオージな字と生っ化なの きまなれでレマ 視。つでわれ×体で世宙調きてさしは 嫌すいま暴てイ 和ら私せくいい。こわ君みン とこてレちる」化すな的 好れ見ょ声のシさからな すれたるさマ がつとっのるド んをえうなで ³せら意生 るるちこせイ 激まがてよとを でテるしきすンれ、節き よよはと`ン しり判あうわ任 いレこ、声。がばマは方 うう公で内ド すマ明りにか細

テレパシーや透視などが言葉を にして行うのか、にあると思い はきわめて抽象的ですからしょう。 はきわめて抽象的ですからしょう。 はきわめて抽象的ですからしょう。 はきわめて抽象的ですからしょう。 が直にですると思い でに充分にご承知で、今更こん が言葉ではあらわせない。



挨拶中の久保田主宰者 昨年の日本GAP総会にて

だ がのななイさス偶偶 つ広タれん話く話 るば所べか けマわーののンロタ然然しか告ンな。まれしそだよへる心そ をイか体でだドビンで《かるでドロ氏でたまころい行米中の 見ンろ化すとがとドはとしか、でにがし上すでう。っ代にと でドラが、考を指へな思、もよついし住て、と氏し氏でが起き 浮はとい
えれ示
寄くわこしいトで事く収
のとは
なこに か通いか、れとしつ、れのれ就買ものれ入喜所。喜とけりあ れ常うにではなたて内る /ま職っ、世るのんを んりれまる ・も重イへくの新部現っせ口た帰話かあで訪 であばす種 質え、。の い現の要ン実従に聞の象トんが新途まもる金ね で象ででド際つ対を意がり。個間で知住をてしずXTK いのすあと、たし買識、と然の駅しれ事質事で借X明ラ ま表 る 意そ結でいが実か に求のてまのし情 くり氏日× す面 か識う果マなつはり 見人スくせ世でを れれの食き

張中んで うは方牟山 てあば笛形 下る)的地 さと本意方 い言当質の 元一左要 五ま恵開し 月すま発い の。れさ大 山大たれ自 形い境る然 仙酒のさ中

う字鋭と可と分たらの世真し し科秘れしのな 笛敏い視いに場郷事ん因た て単訣にてはわこ 的なうのうと合里情。まかな感に摂真。 へでたでっ あーはで不容ちの りとアも可易つよ 生管と理因で一帰物と見て まっダ出能でイラ すテム来ではしな きをまのを良郷ら年えき物 、レスるはあり芋 方持でキ悪い里ね住ばわ事 とつ洞に知こへばみ、めの パキこありン笛 シーとりまが的 **室草し**と帰ななあよ者 えずかしてるられるう後 一のでませをな る。るれとなほなた人とに レーオせん関係 に生。んが発覚 でこほたれるうく東がはひ しれどのかのかな京何しそ 詳命そ よかのだ不た自っかかまむ 述ののだ決るす



久保田先生を囲んで(山形市)1979年12月10日

心再染台 ゆ合し支 くしみ部 まてに大 台な待ち い雰レ今 ま囲てか し気おら よのりま う中ま常 です。ド

てそ我で人のはに想 てそ存すのし割上ま間 宇いれをす間で宇相念宇いの在[°]運れりですに聖 宙まは満。はあ宙道の宙るこしだ命ま当何。多書 的す人足固こっ的が型的のと、かませてらこくに 。間さんのでなあとなでが同らたんたかれのよ の世的地、オリの想す人じこは。このはすれ 生もそ目こと春神能ば をの夕的れを仕がを 価は様とを意を我与神 値一ない我味す々えは あつ者っ々する各た地 らもえてはるよ人と球 しな方い人かうにあの めくがま間もに地り人

てたこてれす目 応るよ間決るいをな除すなすか いいれ才自。的一用たっへ法報で続が去。くる ますは能体とか方しめて伝を酬しけらす一し人宇 するあををいら、てに彼え発をすて研る例でや由 信ら誤満つの個いもはま見考うい究をと普は的義の用足の分人るつ自すしえ。る望めし過ばな 例のるしさは離的わて已。たて彼医でのて的自考 を欠すてせ、をなけ生のそなはは断不解はな己え あ乏能いるそび想でま運うらい自を眠決肉音"方 げをのるこのき念すれ命すばま分あ不法体葉をを まあ授かと想起は、たをるそせにげ休をので

才遂これんたるの探苦秀

能を女とのす生とるは若私に存のはい。まが楽すいは と分個信ずしれで器で士三 感に人じれかつきのき性つ 世発的てをしい 音なをの た種ないも彼たま色声知る かさ性まず女才たををっ能 らせ質せばは能が正もでに でるはんらこをン確つい思 すこかでし れ有スにてまま "とかしいらしにまいすれ 彼がるたものでおねて 女不才。の才いいる、彼い は可能彼だ能まてこ或する

しら与らに念こ宇

う。しにす。っそまの

存てな上そ能まあ念。

在い想にのをすいの

のた念お才表。だ型

目のはか能わ学にと 的で個れをし笛は個

にす人たもで的考人

反がのわついなえ的

自けてた型方な

は

何



5

わえ説すま なも彼ことなた役はめこ惜かな一みる しら明るす次奉た女となら才立なにとのくいにる結二し能の護士 てれず知。に任らはにりば能たら身に念才で彼こ果のたの安者いたる識或別をす痕なり、をせなのなは能し女とが個。発全を 掴をも ま一能をるななこれで身そもるい保る絶がよはに起人 しつ力求人例しと果たはのしよで塵かえあう決しこ的とはつ たの」がはをたにてか確報後うしはらずっ。しまるな いかた °オーる生あかよたも実い立にょたで目だとてしか振 うるめ し能割人命げもっ人知にはが与ういす分のい幸せを舞かし造々のるして々れ保無発え。し。をにう福う少か 前こに 珠と結 る「者に神これ非にま障限達らとた彼苦とのに。しら をに婚 黒よに にをかそ秘とま利慰せさなされここ女しいはは先考如 才あられににせ己みんれもせてろとがめつせなずえ何 視っよ 能ら与を関しん的を。るのたいがに求る哀っれ第でな してる

> へとず " こてたんこ的保一の つがもてまいし Gきる人以の創らでれな障般保いあらっはしみて のこ間上こ造ししま保よ人産まる生ておた野し 相とのがと者またで障りのを私かを生り。にま 子道"宇"はのす。°にをも考もはら受まま現入い でと笛利続目し日何もはえつ財でけれせ在ら、 すい的己く的 マもつる方て産すたたん私ざ私 。うな。でに私が望てかにはと。目才。はるは 言
>
> 善
>
> と
>
> し
>
> 役
>
> が
>
> 心
>
> ん
>
> い
>
> に
>
> よ
>
> い
>
> い
>
> 的
>
> 能
>
> な
>
> 何
>
> を
>
> や 葉在いよれ全要でまたるまう をを世の得む で能ううつけなはすきいせかった力言。かを物き、なわんた 遂発な後なな 行揮ら悔くく えを葉 ぎあをま私永ゆがち しし私もな新 る信とりげもせは続るで つなはしりし



短山港支部報発刊

仙台支部代表



笠原弘可

一をでのい ス盛す支る山 にり。部、形 K 刊 いたどへと支 O E くてうちい部ようけ 事あ ZI = かょうは う支いっ全 私り à ' 属部支と国よ っ報部大にく よ可 うか て製長げ評ま い作のさ判と まも山でのま 者に にて すスロす?っ 。ム氏がして はく

るでる製私せでの てす連が地 ざ ペレの作のん、重しい 充絡、方静い山 レタでごと。考要かる臭紙仙支岡ま形 と製。送ろったが何こせ的支報仙。 いたタオのでだま事ろは性部と台 うの保らちみけずもでう格報なに 事苦田結ってで強やすとではら次に労先構は分は調り。今、れい お 一今まるで なは生手けか何さ始 80) り押の間なりもわめ 案後だわ三 3 ましニが支まなるる をままけ番 すてユか部すリベニ 錬すだで目 "知しか報がまきと

|体宇は喜すぬ思題 るもそ私しもア寄程ま本で目真 で化曲うばが同うに深ののうき、なル世深すんす的剣と筆変等をのかし、談の何刻でがい経最いト重刻がは。にさんを重 の成意。いまばでのさす国っ験後物か苦に一そししがな意貢 進し識私精ずかすつは 。賦たしに事べしなけのかた異物がな 多球と達神心り。ラ の場た悩がないり、傾しも求事さの よで事み重に顔ま真向のさにせで - レげのの状要のもス和 うれがに大なにす剣が地なれ取てすな数あすなりな。に強球らまりいが たた一目態な軽ちに産 人人体的での薄ろもの 々々化とははさんな取 ~~· Lな も いらり はガそてい明不つな扱 シラのいでる要まいう らおがま発何さ皺なわにさ上とまも 決けーるしいでらと問 れう、す展でえをるれ日らをもすな



大久保、安藤、高野、笠原夫人、笠原、各氏。編者攝影。

しを明要思あ過ないずたいゆでて情のうの ま意る性うりぎかも いなうつもを世の話悩 す識いをかまてなのパもししや心 "界でをめ 。の喜マらす不かだツのでとあ豊使では聞る It 印ばてこ。調難ととですややにいは決く人 しンそそ和しい明す。つあな分し時々 をいげ、れにいつる。精た、フナイで不と 念呼るはるす思想のは変気き事場の慎に波びいいこ。っ念に自人嫌まりにまにい い動か感けと私でを左由扱うすがたせ笑る 私 状はけ情ながもい保石でいる。どじんえ時 谨 態人まのいよ考まちさお思わ萎うた。と 0 4 に間或重とくえず。たれり違し式し表こいぞ

せっのを入ま

んてで開々せ自覚備

かしすくかん分めの重賞

クあま

में ने

いうン熊せ な。ドでん い顔も、が との喜名 思表び細人 う情で胞間 のも打はに で、ち活と すに震性っ こえ化て やるし至 かで、悦 FLRO

9

う識

Tale 凡目

人覚

にめ とた

て時

EO

分状 か熊

りは

主私

表

Id

7

75

(1

Z 間

う

0)

7

電 よイ状

なられなく、各々とではなく、土星人の然会星人、土星人の進んのです。 進む 深せで共つ かで他刻るいに人 望りそく自なださきます。 らずのさのる希間 新はに事望に し、重がに不 以肉要信満可 相体だ念ち欠 でいてす 念細とをたの

由に生きているというより、本能のももむくままに生きているとさえ思っては横目で見て、野蛮だとさえ思っています。でもその本能のままに生きています。でもその本能のままに生きている動物産の方が私、達よりずっとすがシックなのです。そう考えると本能とは大切なことなのだと思います。 生きるために戦い、生ある限り精一杯生きている動物産の方が私、達よりずっとなったとは大切なことなのだと思います。 生をたとば大切なことなのだと思います。 生きたいるというより、本能の由に生きているというより、本能の 8 最近よく考えることがあります。 おかいとう 大間の自然の法則的な本能を、私見についてあまりにも目を向けておらず、いかんせん、現在の私達は、らず、いかんせん、現在の私達は、ちに働く本能についてです。私達全てに働く本能についてです。私達を最近よく考えることがあります。 うか。 自然界に住む動物達は、自達はどのようにとらえているでしょ 欲的であり、人と人とが受し合うことれてきました。すべてのことについて禁めれてきました。すべてのことについて禁 さえも認めようとされないときもあ せず、禁欲的なことが正しいと言わ遠い昔から私達は本能を認めよう まざまの本能がありますが、では

としてしまい、欲望がすべて悪な的なこいではないでしょうか。単に全部相念 内部の意識で反復して、エゴなのか、とであると考えたりしないで、自分の と思います。それなら本能をすべて打 レパシックな印象と者えることができるゴだと考えます。すると本能もまたデ 能であり、マインドからのささやきが工しょうか。内部からのささやき、信号が本 本能とエゴとのちがいはどこにあるので 部の意識で反復して、エゴなのか、



高野昌子

なのかと反復してみれば、結局はエゴか自分の中でエゴか、本能・意識からの声なくてはいけないのだと思うし、ヌニコも 思います。 らの声は打ち消されてしまうものだと 分の印象からの声なのかを見分け

す。しかしすべては宇宙の英知のまますべてが変化し、すべてが流動しま です。自分自身であり、自分もまた宇的の存在であり、また宇宙の中の存在 に動くのだと思います。 私達はひと

また内部です。ならば、自分の内部のまた内部です。ならば、自分の内部の直はなく、自分の細胞のひとつひとつが持っているものでしょうから、細胞、内部が持っているものでしょうから、細胞はすべてだと思います。記憶は頭が持っているものでしょうから、記憶は頭の中ではなく、自分の内部のとつひとつひとつとなって来ているのだと思います。

すべての体験が、確信への一歩一歩の自分が自分自身への確信をもつために自分自身への確信をもつために自分自身へのなんであり、すべての出来事は、 ようにも思えます。 和達のまわりには、色マの出来事が起

エゴからの声でない、内部からの本能の子笛に眼を向けること、そのことがの子笛に眼を向けること、そのことがの子笛に眼を向けること、そのことがの子笛に眼を向けること、そのことが明在であり、自分のもっとも今路の中 ことだけが正しいものではないと思った。単に敬望だといって打ち着す

編者は昨年のGAP総会後の歓迎大パーティーの席上、ベルギーGAPリーダーのブリットクロフトご夫妻と会話を交わすチャンズに恵まれ、さらに文通を約束していたが、その第一報を頂いた。以下はその一部訳文である。(訳:山口 緑)

くメイ夫人より> アントワープ 1980年2月6日 親独なる山口氏と皆様方へ

あなたからの最高に歓待すべきお手紙と同封された美しいご写真に衷心より感謝申し上げます。

私が唯一望みますことは、あなたがたすべてのすばらしい人たちと共にまだいられたらということです。しかしジョージ・アダムスキーが彼の著書「宇宙船の内部」で書かれた通り、土星人ラミューが彼(アダムスキー)に語ったように "宇宙には障壁がない"のであり、従って私たちはすべて非常にお互い親窓に感じあい、私たちの想念が凸んなときでもあなたがたと共にあると言うことができるのです。

事実、私たちがベルギーに帰って以来とてもたびたび。あなたがたすべてに対してフィーリングを感じ続けています。私たちは自子(フィリップ氏)の撮ったスライドを私たちのグループに公開しましたし、日本日APの皆さんと共にした会台、私たちの旅行、そして講演についてJETと呼ばれるアントワープの雑誌に記事をかきました。この雑誌は500万人の読者をかかえています。

通訳を通してでしたがあなたがたとお話をかわすことができましたことは私にとって大きな喜びでした。あなたが書いて下さいました通り"私たちはお互いフィーリングで話し合った"のです。それはまさしく本当です!

再であなたからの親切なお手紙に思謝したいと思ります。またお手紙下さい。とても楽しみにしています。私はあなたがたすべてに最高のご挨拶をお送りしましょうすばらしき友であって下さることに慰謝いたします。 **くキース氏より**>

妻が書いたものに2.3付け加えたりと思います。私にとってもあなたがたの調和した国を訪れ、あなたがたにお会いできたことはすばらしいことでした。ご今幸あれ、

《予告》是非ご参加下さい!

本年度より山形支部と仙台支部が一致協力し、合 同による大会を毎年開催する運びとなりました。 今回は日本GAP主宰者、久保田先生をお招きし、 先生の大講真、昨年八月に実施された「アメリカ中 米宇宙考古学の旅の迫力ある映画上映、その他盛 決山のプログラムで盛大に開催致します。旅路遠 近を問わず、春風薫る大自然に包まれし花と緑の 山形へ是非お越し下さい! お待ちしております。

日本GAPU形支部、仙台支部 會主催

5月25日(日) 午前10時より @ 日時

●会場 山形市民会館・地下大会蔵室 IU形駅より東A徒徒3分 山形市香港町2丁目 9 Tal.(0236) 42-3121

●会費 Y 1000

10:00 支部代表挨拶 山口 绿, 笠原弘可

12:00 — 昼食·休憩. 一 1:00 映画「PXIIT中米宇宙考古学の放大」 **系村建**郎氏

2:30 - 休憩·記念提影-

3:00 全員自己紹介,質疑応答(4:30 終了) 久保田先生

●夕食会(タタス000円でもべ放置·のみが数!) 当日大会終了後、次の要便で開催します。ご参加をノ

時間 6:00→9:00 (5:30集合)

会場 山形駅前「龍鳳苑」 みつます会館 2F

会會 ¥ 2000 食心放題·飲み放題 (中国料理ウスナービール酒シス)

申込 会計が当大会会場でお支払い下さい。ご参加希望者は面倒で を下記院、ハカキで4月末日までご一報下さい。問い合わせ打配へ。

1.(3月下旬まで) 990 山田(赤小白川町 4-8-1 山新東部専売所内

山口 緑妃 Tel. 0236(31)3314

2.(4月より) 990 山形市東原町 4-17-18 朝日柱 23号室

3. 自宅 999-31 上山市小倉 30 Tel. 023-67(9)2555

日本GAP

山形支部月例研究会

りますのでご留音下さい。 会議室で開催しますが、変更があ原則として第1日曜日市民会館 次の日時・会場で行ないます。

5月26日山· 市民会館· 《 6日7日日 7月6日 田・市民会館・午後4~5時 4月5日日: 3月16日田·県民会館・午後1~5時 学家

·持参品 会費 200円 テキストとしてコテレペシー」

內容 · 採袋 発表・テレバ 公開

安保田先生)・「思想」・研究 談会・その他 ・デバシー」解説テープ シー練習・座

編集後記



◎ 6月の月例会は総会のため中止と二 ◎本号より日本GAP山形支部機関誌 ◎前ページの広告の通り、5月万日(日)に です。 ましたが、これを変更し、6月のワー 8日(主見の「泊二日の日程で、米沢 ューズレターの号に掲載させて頂き り合わせの上、外数ご参加下さい。 するとはできません。もうそ万璋経 示頂く予定であり、ころらも見述 演会と昨年の旅行の感動の映画を 今大会は久保田先生の事が晴らしき大議 続することにしました。山形支部での と題する珍しい写真数点をも展 れた、「人間ーこの主を晴らしきもの」 山形・仙台合同支部大会を開催します。 さまとの交流に役立てればと田川ます。 展させてゆくと共に、全国の会員の皆 GAP治動をこの機関誌を通じて発 一時間半に渡って展開します。心見 セーシ」は従来通りであり、号数も継 りました。しかし読名「ユニバーサルメッ として新たに再スタートすることにな その他久保田先生の撮影さ

> は次号に掲載しますので、こちらにも ようという素晴らしい計画がありま 引るってご参加下さい。 には必要だろうと田心われます。詳細 の音論との一体化をはかるこもとき 詳細は未定ですが、大自然の中で宇宙 す。名づけて「天元台宇宙大自然の旅」。 市にある絶景天元台にツアーをし

◎編者の住所がコ月末でもって木量とな 他、原稿お便りなどをお客せ下さい います。本号に対するで音に見いその に有益で、太京多考にして頂けると田で ました「宇宙的イーリングの開発」は実 します。久保田先生からお客せ頂き 寄せ下さった方々に心から感謝いた の本号に貴里な原稿やイラストをお 現住所にお手紙お言語下さらないようります(いんでジを配)。4月からは絶対に におねがいします。

編集発行 山口緑 山形支部機関誌コニデサルメゼーシー6 **元**行 所 中级三年市一日一日一日一日一日一日 傾面100円 送料140円 一九八〇年三月十六日、発行 日本日日山形支部